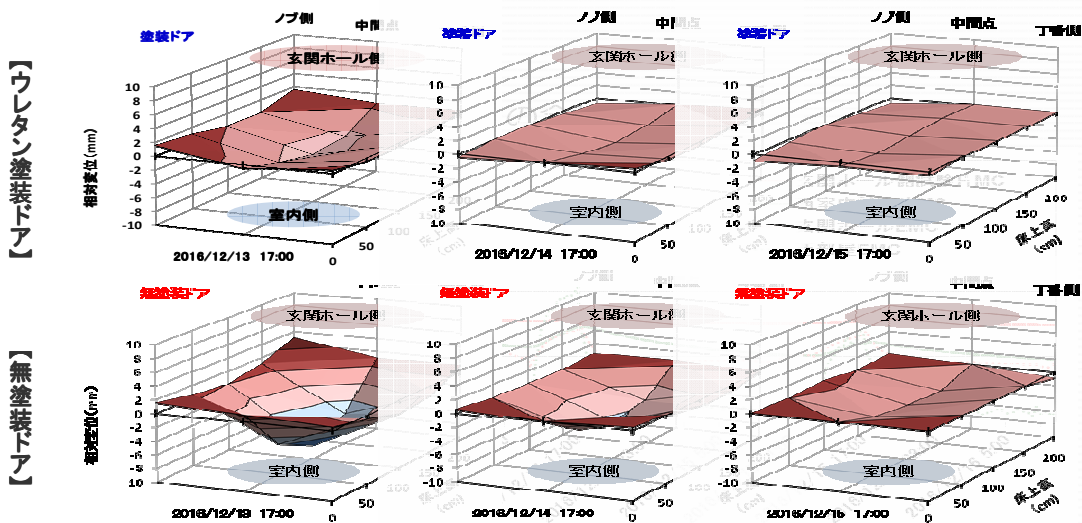


高品質へのこだわり

木の品質や性質は多種多様で奥が深い。育った山の状態(土壌の質や水はけ等)や自然環境の変化も木肌や性質に表れてきます。木を有効に活用するために製材所はもとより、研究機関や専門家とともに研究を重ね、日本の森の善循環に貢献できるよう高品質で長持ちする商品づくりに取り組んでいます。

研究機関との共同研究

木材の反りは幾つものことが重なって起こります。岡山県森林研究所と共同で原因を解明し改良に取り組んでいます。例えば建具の表と裏の温度湿度を意識的に変化させ、反りがどの場所に、いつの時点でどれくらい発生するかといった調査をおこない対策を立てています。この研究は全国的にも珍しくこれによって現在の不具合発生はごくわずかです。仮に起っても表裏を同じ温度・湿度にすると約 2 カ月後にはほとんど元に戻るということが実証されています。品質に自信があるから保証期間を設定しています。



【実験結果】無塗装材に比較して、ウレタン塗装の変形は圧倒的に小さい。

岡山県森林研究所からセルロース、ヘミセルロース、リグニンといった木の組織的なことや、木材のクセの発生原因や強度、乾燥や削り方など基本的な研修を定期的を受けています。腐朽菌や虫害、断熱性や遮音性といった素材情報も勘や経験ではなく科学的に捉え、よりレベルアップした商品づくりを目指しています。特に国産材の特徴については入念な情報収集につとめています。

